

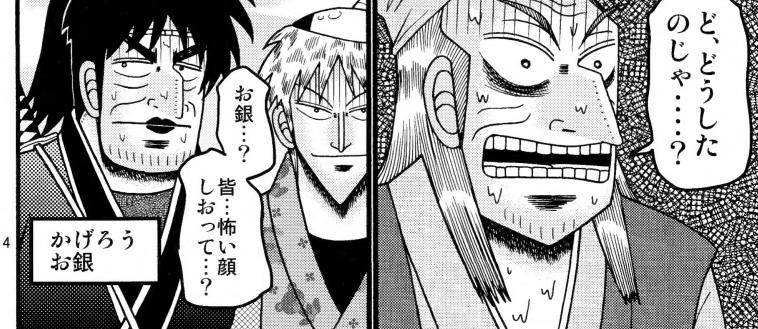
無料配布





























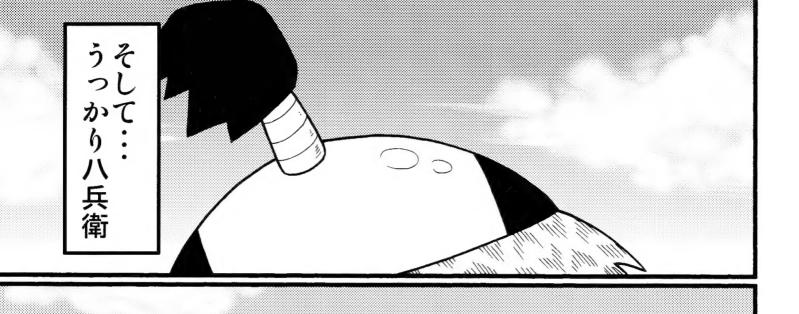












ずとなるのであったして闇社会に君臨する神域のうっかり者」

うつかりを繰り返しその後も数々の

个点生。完



水戸黄門 大戸黄門 大戸黄門



うった。 うっかりと伝説を築いていくので うっかりと伝説を築いていくので 戦いに次々とうっかりし、 戦いに次々とうっかりし、 プロのうっかり者・天木や、 プロのうっかり者・矢木や、 プロのうっかり大**兵衛**



あとがき

3月22日に水戸コミケットスペシャルが 行われるので、水戸にちなんだ本を発行致しました。

ネタ自体はずっと前に思い付きながら放置、今回のコミケスペシャルにて丁度良いと描く事を決めておりました。

そう言う訳で本来この本は水戸コミケット記念本なのですが、サークル「STAFF ROOM」の摩砂きゅ〜様に誘われ福本オンリーイベント「フクモトロジック」へも参加決定、2月28日発行となりました。久々の福本イベント、お誘い感謝です。

合体スペースを取る為カイジでの申し込みですが 新刊はアカギ本、カイジ本は既刊のみで申し訳ありません。

何気に1年ぶりの福本本、それも実は初?のアカギ本 となりました。

1年ぶりでも描き方はそんなに忘れてはいなかったですが、何気に漫画を描く力自体が落ちてる、これは 泣きたい所です。

この本描く為に久しぶりに水戸黄門観たら、 うっかり八兵衛はちゃっかり八兵衛に、かげろうお銀は 疾風のお娟に代わってたり、風車の弥七は2代目に なっていたりと色々違ったのですが、やっぱり 水戸黄門は水戸黄門でした。

色々奇をてらった作品も多い昨今、久々の黄門様は やっぱり安心感がありました。

コレ描く為に一応ウィキペディアとか見てみましたが、 徳川綱吉や柳沢吉保なんかも一般論で言われている様な 人物像では無いとの説も高く、色々勉強になりました。 悪法と言われた生類憐れみの令なども、出来た経緯を 読むと現代と通じる所もあります。

元禄文化華開く時代、長く続く平和の中で文化が 変容していく様は、まさに同人やっている自分に とっては共感を覚える所もあり、同時に退屈に思っていた 江戸中期の歴史にも興味が沸いたりしたのでした。

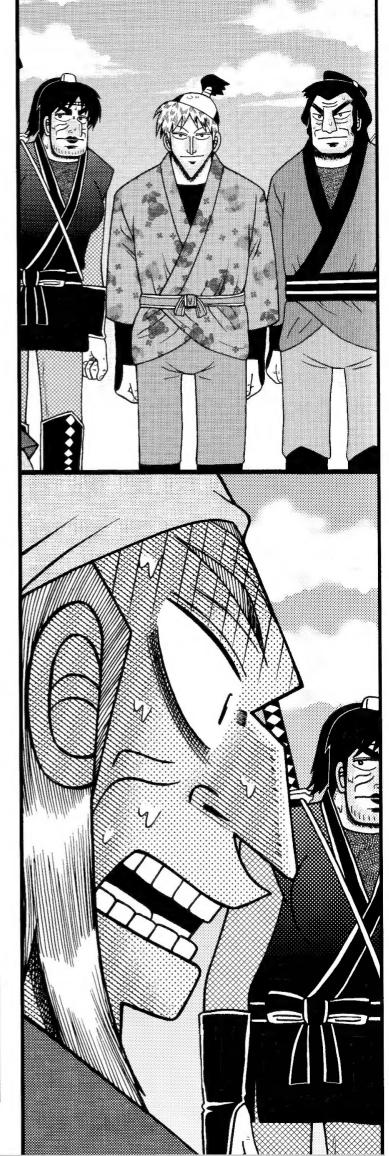
と、水戸コミケ的に相応しいっぽい?締めくくりで終わろうと思います。祝水戸コミケ!ありがとうフクモトロジック!。

2010年2月28日 サークル「ふぇすた。」 義谷元日

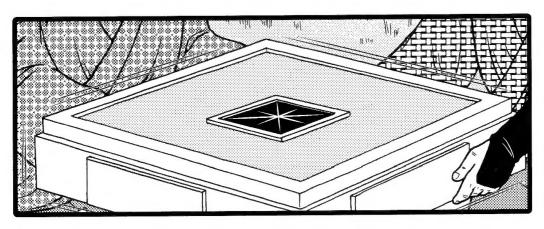
おくづけ 発行日:2010年2月28日 発行サークル:ふぇすた。

代表:義谷元日 mail:yoshitani.g@r5.dion.ne.jp

印刷: くりえい社様



こいつはとんだ



うつかりだ!